

個別避難計画＜文例集＞

＜計画書の記載欄ごとに文例を作成しましたので参考にしてください＞

【基本情報】

○家族構成

- ・ 本人、妻、長男夫婦、孫 2 人（小学生、園児）の 6 人暮らし
- ・ 妻との 2 人暮らし。長男夫婦が敷地内別棟にて生活し、普段から行き来あり。
- ・ 本人、妻（認知症）、娘（精神 1 級）

【要支援情報】

避難や避難先での生活に必要な支援・設備等を記入してください。できる限り症状や状態がわかるよう、日常的に用いている平易な言葉で記入してください。

記入欄が狭いので、情報入手・身体状況・避難生活に関する内容を、その他の留意事項の欄に記入しても構いません。

〔支援の必要性〕

○情報入手

- ・ 避難が必要か判断できないため声かけが必要。
- ・ すぐ忘れるためその都度必要なことを伝えてほしい。
- ・ 館内放送は聞こえないが、耳元で大声なら聞こえる。（右耳の方が聞こえやすい）
- ・ 視覚障がいのため、掲示物があれば読んでほしい。
- ・ 言葉での理解は難しいが、イラストがあれば理解しやすい。
- ・ 漢字が読めないなので、ふりがなが必要。

○身体状況

- ・ 左半身に軽い麻痺。車椅子自走できるが、上り坂は支援が必要。
- ・ 歩行器歩行、段差移動は横で支える人が必要。
- ・ 床から立ち上がれないので、椅子やベッドが必要。
- ・ 肺が悪いので、少し動くとすぐ苦しくなる。
- ・ 在宅酸素療法（〇〇会社 0265-12-3456）
- ・ 寝たきりでずっと同じ姿勢だと床ずれができる。

○避難生活

- ・ 箸が持てないためスプーンやフォークが必要。
- ・ 食事は一口大にしてくれたら自分で食べられる。（一口大にするのは支援が必要）
- ・ 左手に麻痺があるので食事に机と椅子が必要。
- ・ 遠慮してトイレに行きたいと言えないので、時々声かけをしてほしい。
- ・ トイレまでの移動、トイレ内でズボンの上げ下げに介助が必要。
- ・ 靴下を履いたり、足の爪切りができない。

○その他の留意事項

- ・認知症で直前のことや食事したことも忘れてしまう。元いた場所に戻れなくなる。
- ・認知症で自宅や〇〇にある実家に戻ろうとする。停電や断水が理解できない。
- ・物盗られ妄想、幻覚(いない人が見える)、同じ話をずっと繰り返す。
- ・本人はいろいろとできるつもりで答えてしまいますが、実際にはできないことが多いです。
- ・寒暖による衣類等の調節ができないので声かけが必要。
- ・知的障害があり、難しい言葉の理解や数の計算ができない。
- ・自分の行動を自分で決められないので、声かけによる促しが必要。
- ・1対1で簡単な言葉で話せば日常のことなら理解できる。
- ・理解できないことがあるとパニックになり大声を出す。一人になれると落ち着ける。
- ・強いこだわり(自分が納得しないと動けない)あり。
- ・大勢いると不穏になるので、なるべく駐車場の自転車や人目につかない所で過ごします。
- ・不穏時に車に避難したいので駐車場に車を止めさせてほしい。
- ・服薬管理について他者の介助が必要(朝は飲み忘れ厳禁)。薬を手渡せば自分で飲める。
- ・手伝ってほしいことは自分で説明できる。
- ・〇〇の薬は冷蔵庫に保管する必要がある。
- ・持ち物 薬・眼鏡・補聴器・補装具(右膝下)・食事用座卓・オムツ・枕
- ・ネブライザー、酸素濃縮装置を使用するため、電源が必要。(自宅に発電機あり)
- ・酸素ボンベを運ぶため移動には車が必要。長期避難の場合は、〇〇酸素に予備を手配。

3.【医療・福祉サービス利用状況】

薬の種類は薬品名ではなく、何の治療のための薬かがわかるように記入してください。
記載が難しい場合は添付資料を付け「別紙のとおり」でも良いです。

4.【避難に関する事項】

〔避難方法〕

○避難場所

- ・〇〇(一次避難場所)、〇〇区公民館(二次避難場所)※必ず地区名もご記入ください
- ・①長男宅 ②〇〇区公民館
- ・一旦〇〇区公民館に避難。長女が迎えに来たら△△区公民館(長女家族と一緒に避難)

○手段、特記事項

- ・長女の車で公民館に避難する。車椅子から車の座席までの移乗は長女と孫で行う。
- ・社協から車椅子対応の車を借り、長男が避難先まで送る。
- ・避難先までの道がわからないので、両親が誘導して歩いて避難する。
- ・自力移動できるがパニックになると飛び出すことがあるので、移動に複数の同行者が必要。
- ・近所同士で〇〇に集まって公民館に行くことになっている。視覚障害があるため、普段と違う状況になっているところや足元への注意喚起を支援してもらう。